

## 前回までの協議会におけるご意見・ご指摘の対応（案）について

No.	ご意見・ご指摘の概要	対応方針
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コミュニティバスを通勤・通学に使いたい」とする意見がある。コミュニティバスが、高齢者や障がい者に配慮すべき交通手段であることを踏まえつつ、通勤・通学の乗客を増やすという視点で対応は可能か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤・通学に対応するには、運行時間の長時間化、運行間隔の短縮などにより車両数の増加、運転手の増員が必須となり、利用者が増えたとしても経費増加分を補えるものではない。また、過去のアンケートや要望においても利用ニーズは高いとは言えないため、コミュニティバスについては、高齢者などの交通弱者の買い物、病院のための移動手段としていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の方向性（案）のうち、「地域で支えあう～」については、住民の方がボランティアで行われている事例もあるが、白タク行為になる恐れもある。丁寧に見極めていただきたい。</li> <li>地域住民がハンドルを握る取組みは最終手段だと思っている。表現を考えていただくとともに、「地域の支え合い」という中身を考えることが大事かと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域住民による運転」とは異なる取組みを前提とし、例示等も含めて表現を工夫する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスとデマンド交通について、今のあり方をベースに、既定路線で進むべきものではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大改編を想定したものではなく、今の交通体系を活かし、改善を図っていくことを前提とする。  (第 34 回協議会で回答済み)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドア to ドアのニーズを満たすためには、田原本町の事例のように、福祉タクシーに切り替える方法もあるのではないか。</li> <li>チケット制にすれば、市内を超えた利用もできる。住民懇談会でもニーズを見ていると、デマンド交通の限界にきていると思う。方向性を決めて議論する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者による交通サービスを基幹とし、コミュニティバスとデマンド交通は補助路線とする。また、今回の網形成計画では、コミュニティバスやデマンド交通の市外移動については検討しないこととする。</li> <li>福祉タクシーのチケット制は、第 31 回協議会の資料 3[13 ページ]に参考で示しているとおり、163,200 千円と経費負担が過大となるため現実的でない。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスについて、民間の交通事業者が運行しているエリアと重複させる必要があるのか。重複するところの資源を、本当に必要なところに割り当てる方法を考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見を参考に、運行計画を検討する。</li> </ul>